

東都大学図書館通信（深谷キャンパス）

Historical Treasures



本草綱目

（ほんそうこうもく）

出典：ColBase (<https://colbase.nich.go.jp/>)

『本草綱目』は、中国・明の時代の医師、李時珍（1518～1593）が編纂した、中国本草学を代表する書物です。全52巻から成り、1596年に刊行されました。薬用となる植物・動物・鉱物などの「本草」を体系的にまとめたもので、江戸初期には日本に伝来し、日本の本草学や医学の発展に大きな影響を与えました。なかでも初版本は「金陵本（きんりょうぼん）」と呼ばれ、現存数が極めて少ない貴重な資料として知られています。世界で確認されているのは15セットのみとされ、国内では京都府立植物園（京都市左京区）の所蔵を含む5セットが確認されています。同園の所蔵資料は、1925年に植物学者・白井光太郎から寄贈されたもので、テレビ番組で鑑定された際には、全52巻のうち6巻を欠くものの、その希少性と文化的価値の高さが改めて評価され、大きな注目を集めました。

本草綱目

『本草綱目』は、中国・明の時代の医師、李時珍（1518～1593）が編纂した、中国本草学を代表する書物です。全52巻から成り、1596年に刊行されました。薬用となる植物・動物・鉱物などの「本草」を体系的にまとめたもので、江戸初期には日本に伝来し、日本の本草学や医学の発展に大きな影響を与えました。なかでも初版本は「金陵本（きんりょうぼん）」と呼ばれ、現存数が極めて少ない貴重な資料として知られています。世界で確認されているのは15セットのみとされ、国内では京都府立植物園（京都市左京区）の所蔵を含む5セットが確認されています。同園の所蔵資料は、1925年に植物学者・白井光太郎から寄贈されたもので、テレビ番組で鑑定された際には、全52巻のうち6巻を欠くものの、その希少性と文化的価値の高さが改めて評価され、大きな注目を集めました。

Historical Heroes



斎藤茂吉

出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)

山形県に生まれた斎藤茂吉（1882～1953）は、精神科医として活躍する一方、アララギ派を代表する歌人としても知られています。『赤光』『あらたま』などの歌集を世に送り、近代短歌の発展に大きく貢献しました。茂吉の才能と歩みは、二人の息子たちにも受け継がれました。長男の斎藤茂太（1916～2006）は精神科医・エッセイストとして活躍し、「モタさん」の愛称で親しまれながら、人生や心の健康をテーマに数多くの著作を残しました。その温かな語り口は多くの読者の心に寄り添い続けています。次男の北杜夫（1927～2011）は、精神科医であり作家としても才能を発揮し、『どくとるマンボウ航海記』の大ヒットで広く知られる存在となりました。『夜と霧の間で』で芥川賞を受賞し、日本文学を代表する作家の一人となっています。

斎藤茂吉と二人の息子たち

山形県に生まれた斎藤茂吉（1882～1953）は、精神科医として活躍する一方、アララギ派を代表する歌人としても知られています。『赤光』『あらたま』などの歌集を世に送り、近代短歌の発展に大きく貢献しました。茂吉の才能と歩みは、二人の息子たちにも受け継がれました。長男の斎藤茂太（1916～2006）は精神科医・エッセイストとして活躍し、「モタさん」の愛称で親しまれながら、人生や心の健康をテーマに数多くの著作を残しました。その温かな語り口は多くの読者の心に寄り添い続けています。次男の北杜夫（1927～2011）は、精神科医であり作家としても才能を発揮し、『どくとるマンボウ航海記』の大ヒットで広く知られる存在となりました。『夜と霧の間で』で芥川賞を受賞し、日本文学を代表する作家の一人となっています。

Touching Words



そんなに怒らなくてもいいんだよ

ネコと学ぶ心が軽くなる方法
（安藤俊介 著／宝島社）

ことばの贈り物～本の中から～

笑顔でいると気持ちも明るくなる

『そんなに怒らなくてもいいんだよ
ネコと学ぶ心が軽くなる方法』より（p.14）

日々の出来事や揺れ動く感情に心を乱されそうな時、アンガーマネジメントの第一人者・安藤俊介氏がやさしく寄り添う一冊です。猫たちの写真とともに添えられたメッセージが心をほぐし、穏やかな気持ちへと導いてくれます。

Book Picks



1年目ナースが先輩から「よく聞かれること」108
（NTT 東日本関東病院看護部 編／照林社）

先輩に聞かれること、まとめました

『1年目ナースが先輩から「よく聞かれること」108』は、看護学生や新人看護師の皆さんにおすすめの一冊です。臨床現場で先輩看護師からよく聞かれる質問を108項目にまとめ、日常業務から患者さんの症状や病態に関することまでをわかりやすく解説しています。「なぜその質問をされるのか」という理由や考え方も学べるため、不安を感じやすい看護学生の皆さんを支える心強い本です。実習前の予習や就職準備にも役立ちます。ぜひ一読ください。

Book Picks



イン・ザ・メガチャーチ
（朝井リョウ 著／日本経済新聞出版）

「推し」と生きる時代へ

鮮やかに時代を切り取る作家として知られる朝井リョウさんが描く「推し」の物語。2026年本屋大賞受賞作の『イン・ザ・メガチャーチ』は、「推し活」を軸にファンダム（※）経済の構造を描いた作品です。推しをプロデュースする慶彦、推し活にのめり込む澄香、推しの死で日常が一変する絢子。三者の人生が交錯しながら、ファンダムのリアルを鋭く描き出します。「登場人物が全員『私』すぎる！」と話題の一冊です。

※ 特定の作品や人物などを応援するファンの集まりや、その交流・創作活動などを含む文化。

Book Picks



あなたの言葉を
（辻村深月 著／毎日新聞出版）

やさしい言葉で、心をほどく

『あなたの言葉を』は、作家・辻村深月さんの「毎日小学生新聞」に連載したエッセイをまとめた作品です。小学生向けに書かれた内容でありながら、大人の心にも静かに響き、かつて子どもだった頃の戸惑いや葛藤を鮮やかに呼び起こします。なぜ周囲に合わせてしまうのか、言葉にできない思いとどう向き合うのか——辻村さんは自身の記憶を手がかりに、やさしい言葉で問いをほどいていきます。読むほどに心の濁りがずっと澄み、過去の自分と静かに向き合える、温かな一冊です。

Book Picks



イラストで楽しく学ぶ！
食中毒の知識
（伊藤 著／西島基弘 著／おのみさ イラスト／講談社）

知っておきたい食中毒と衛生管理

『イラストで楽しく学ぶ！食中毒の知識』は、「食中毒とは何か」「どのような種類があるのか」「HACCPとはどんな衛生管理なのか」など、食中毒全般を丁寧に解説しており、初めて学ぶ方も手に取りやすい内容です。各所に収録された「食中毒の豆知識」も興味深く、たとえばポテトチップスは、未開封でも保存方法によって食べられる期間が異なり、劣化の最大要因は太陽光線であること、さらに「食べても大丈夫か」を見分ける匂いのチェック方法などが紹介されています。

Teacher's Picks

クラフト・エヴィング商会著『ないもの、あります』

小児看護学領域 木田文子



ないもの、あります
(クラフト・エヴィング商会 著 / 筑摩書房)

クラフト・エヴィング商会の『ないもの、あります』は、日々の暮らしの中で何気なく使っている言葉に潜む「不思議なものたち」を、まるで本当に売られている商品であるかのように紹介してくれるユニークな一冊です。「堪忍袋の緒」「転ばぬ先の杖」「地獄耳」など、誰もが耳にしたことのある言葉が、ユーモアと想像力によって新しい姿をまとい、ページの中にそっと現れます。読み進めるうちに、「ああ、こういうふうにも考えることもできるんだな」と、心がふっと軽くなるような驚きが訪れます。少しレトロな雰囲気イラストも魅力的で、ページをめくるたびにどこか懐かしい気持ちになったり、思わず微笑んでしまったりします。文章も決して難しくなく、肩の力を抜いて楽しめるので、読書が久しぶりの方でも気軽に手に取ることができます。忙しい毎日の合間に数ページ読むだけでも、気持ちがふわりと軽くなり、心に余白が生まれるような感覚があります。

この本に登場する“ないもの”たちは、形こそありませんが、私たちの心の中には確かに存在しているものばかりです。たとえば、「堪忍袋の緒」は、誰もが一度は切れそうになったことのある“心の限界”を象徴していますし、「転ばぬ先の杖」は、未来への備えや慎重さを表す知恵そのものです。どれも、誰かの経験や思いが生み出した、目には見えないけれど大切なものです。本書は、そうした“目には見えないけれど確かにあるもの”を丁寧にすくい上げ、ユーモアを交えて可視化して見せてくれます。

こうした視点は、看護の現場にもどこか通じるものがあります。患者さんの不安や痛み、安心感や希望といった“見えないもの”を感じとり、寄り添おうとする姿勢は、看護においてとても大切な力です。『ないもの、あります』を読んでいると、相手の気持ちを想像することや、言葉の奥にある背景を思い描くことの大切さを、自然と思い出させてくれます。

『ないもの、あります』は、知識を増やすための本というより、想像力や感性をそっと育ててくれる本です。読み終えたあとには、目には見えないけれど確かに大切なものについて、少しだけ丁寧に向き合いたくなるような気持ちが残ります。日常に小さな彩りを添えてくれる一冊として、ぜひ手に取ってみてください。きっと、あなたの中にある“ないもの”が、やさしく息を吹き返すように感じられるはずです。

Art & Culture

ピカソ meets ポール・スミス 遊び心の冒険へ



パリ国立ピカソ美術館所蔵の名品を中心に、20世紀美術を代表する芸術家パブロ・ピカソの創作の軌跡をたどる展覧会です。会場デザインは、鮮やかな色彩と遊び心あふれるスタイルで世界的に知られる英国人デザイナー、ポール・スミスが手がけます。

ピカソの初期から晩年までの約80点の作品を緩やかな時系列で紹介し、多彩な作風の変遷と革新的な芸術表現の歩みをたどります。「青の時代」の《男の肖像》や、《アルルカンに扮したパウロ》をはじめとする代表作を展示。ポール・スミスならではの自由な発想による空間演出が、ピカソ作品の新たな魅力や発見を引き出します。本展は、2023年にパリで開催されたピカソ没後50周年記念特別展「Picasso Celebration: The Collection in a New Light!」をもとに構成された国際巡回展です。巨匠ピカソの革新的な芸術世界と、ポール・スミスの独創的な感性が響き合う、特別な展覧会をお楽しみください。

会場：国立新美術館 企画展示室 2E（〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2）**会期：**2026年6月10日（水）～9月21日（月・祝）**休館日：**毎週火曜日 ※ただし8月11日（火・祝）は開館、8月12日（水）は休館 **開館時間：**10:00～18:00 ※毎週金・土曜日は20:00まで ※入場は閉館の30分前まで **観覧料：**一般2,400円、大学生1,400円、高校生1,000円 ※中学生以下は入場無料 ※障害者手帳ご持参の方（付添の方1名を含む）は入場無料 ※7月29日（水）～31日（金）は高校生無料観覧日（学生証の提示が必要）**展覧会公式HP：**https://art.nikkei.com/picasso_ps26/ **国立新美術館公式HP：**<https://www.nact.jp> ※最新の情報は、展覧会公式HPをご覧ください ※画像の無断転載を禁じます

Topics

参加者募集！令和8年度学生選書ツアー

「選書」とは、書店で本を手にとり図書館に置きたい本を選ぶこと。あなたの「これいい！」を図書館へ届けませんか。2026年9月16日（水）、紀伊國屋書店新宿本店で開催。申込はQRコードから！



More Book Picks



難問の多い料理店
(結城真一郎 著/集英社)

謎解きデリバリー、開幕

ビーバーイーツ配達員として働く大学生の「僕」が主人公の連作短編ミステリー『難問の多い料理店』。ある日、注文を受けて「僕」が向かったのは、怪しげなオーナーシェフが営むレストラン。そこでは“ある手法”によって探偵業も営まれ、配達員たちは高額報酬に惹かれて様々な事件の情報をオーナーシェフのもとへ運んでいます。現場に出向くことなく、集められた情報だけで謎を解き明かす、新時代の探偵物語。読者の予想を越え、驚くようなタイミングで謎を解き明かすオーナーシェフの手腕には、ただただ驚愕するばかりです。

More Book Picks



犬が教えてくれたこと
(三浦健太 原作/中野きよ美 漫画 / アスコム)

しつけよりも大切なこと

犬との暮らしで大切なのは、「しつけ」以上に「心を通わせること」——。そう語るの、ドッグ・ライフ・カウンセラーの資格を持つ三浦健太さんです。『犬が教えてくれたこと』には、三浦さんが実際に出会った飼い主と愛犬たちの心温まるエピソードが収められています。犬は人間以上に愛情深く、まっすぐな心をもつ存在。本書はそんな犬たちとの交流を通して、人を思いやる気持ちや優しさの大切さに改めて気づかせてくれます。

Editor's Note & News

最近の梅雨は、しとしとと降る雨よりも、ゲリラ豪雨のように激しい雨が増えてきました。静かな雨の中で本を楽しむということが少なくなったことに、一抹の寂しさを感じます。強く降る雨から家に守られながらの読書もまた別の趣がありますが、やはり静かに本と向き合う時間も恋しくなります。